ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

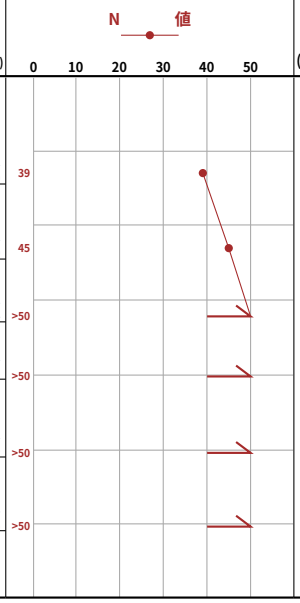
ボーリングNO.									
シートNO.									

ボーリング名	No.2	調査位置				北　緯	36 ° 47 ' 51.0000 "
発注機関	栃木県大田原土木事務所			調査期間	2009-11-10 ～ 2009-11-12	東　経	140 ° 14 ' 57.0000 "
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	229.56 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 10.00 °	使用機種	試錐機	ハンマー落下用具	
総掘進長	6.08 m								エンジン	ポンプ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
	229.21	0.35	0.35		シルト (M)	褐茶			φ5～10mm程度の小礫混入、全体砂質を呈す		11/12 0.50
1					風化泥岩 (Ms)	灰～暗灰			-0.5mまで固結程度は極めて低い強風化岩、固結シルト状で極めて軟質 以深岩芯まで風化し泥質岩主体、ハンマーで簡単に崩せる 岩盤としての絶対的な硬さとしては軟質 コアは概ね粘土状を呈す		11/10 1.45
2	227.06	2.15	2.50								
3	226.16	0.90	3.40		泥岩 (Ms)	暗灰			固結度が極めて低い泥岩である 所々砂分含み凝固物が点在する		
4					凝灰角礫岩 (Tb)	灰褐～緑灰～暗緑灰			やや風化変質した凝灰角礫岩、コアの表面は粗面を呈す 概ね無層理塊状を呈し、希に密着した割れ目がみられる コアは5～10cmの短柱状が主体、コア採取率80%以上、RQD20～30% 岩質は下部に行くに従い新鮮となる		
5											
6	223.48	2.68	6.08								

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	12	12	15	39／30	39
1.45					
2.15	15	16	14	45／30	45
2.45	30	20／4		50／14	>50
3.15					
3.29	50／5			50／5	>50
4.00					
4.05	50／9			50／9	>50
5.00					
5.09	50／8			50／8	>50
6.00					
6.08					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
						11/10
						11/12